

江釣子地区における認定こども園の新設計画について、事業者から保護者や地域住民の声を受けて計画を全面見直しする申し出があったことから、経緯を含めて状況を報告するもの。

1 これまでの経緯

6月13日開催の議会全員協議会から現在までの経緯は以下のとおり。

時 期	内 容
6月13日	議会全員協議会 →新設計画の詳細、対応方針について説明
7月17日	北上市子ども・子育て会議 →対応方針を協議し、承認を得た。
8月25日	保護者、地域住民への説明会 →閉園時期、立地、敷地面積、ホール設置に関する意見が上がった。
9月2日	江釣子地区市政座談会 →新設、閉園に関する反対の意見が上がった。
9月8日～11日	保護者役員会を対象とした意見交換 →立地に関する意見が最も多く上がった。
9月17日・19日	議会一般質問 →新設計画に関する質問がされた。
9月26日	担当課から事業者へ意見を伝達
10月2日	事業者から新設計画見直しの申し出
10月8日	3園の保護者等による閉園中止を求める署名を受領

2 保護者・地域住民からの意見

説明会や意見交換を通じて、保護者・地域住民から上がった新設計画に係る主な意見は下記のとおり。

敷地・園舎に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・江釣子の住民は皆が感じることだが、立地が確実に悪い。(道路が狭い、線路が近い、登校時に危険) ・雪の期間が多い地域であり、ホールが無いということは感覚として考えられない。 ・園庭が狭く、系列園では大きな運動会を行わないなど、江釣子地区には合わない園だと感じる。 ・事前に保護者に話してから立地を考えるべきではないか。
事業者に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・不適切保育が発生した園に子どもを入れるのは怖い。 ・地域ごとの郷土芸能が行われないことで伝承する子どもがいなくなってしまう。 ・地域に根差していきたいのであれば、事業者が直接保護者の声を聞いて誠実に対応するべき。



上記意見を市から伝達し、事業者が検討を行った結果、計画を全面見直しする旨の申し出があった。

3 閉園方針に関する今後の対応

公立3園(江釣子幼、江釣子保、鳩岡崎保)の閉園方針については一旦取り止めとし、今後の対応は改めて検討を行うこととする。